

開拓神社の御祭神

北海道の開拓に心血を注ぎ、

偉大な業績を果たした功労者

三十七柱をお祀りしています。

※御祭神の出身地を現在の都道府県で記載しております。

武田 信広（たけだのぶひろ）
北海道開拓の基礎を築き松前氏の始祖となりました。

【福井県】

松前 慶広（まつまえよしひろ）
松前藩を興し初代藩主として基礎を築きました。

【北海道】

佐藤 信景（さとうのぶかげ）
蝦夷地の開拓にあたり水稲の成果を収めました。

【秋田県】

村山 伝兵衛（むらやま でんべえ）
樺太場所の開拓、北洋の漁場開拓の功労者。

【北海道】

松田 伝十郎（まつだ でんじゅうろう）
択捉島の探検調査、樺太探検に尽力しました。

【新潟県】

本多 利明（ほんだとしあき）
蝦夷地開拓と海運振興の建白・唱導をしました。

【新潟県】

伊能 忠敬（いのうただたか）
東蝦夷地海岸線を踏査、測量して地図製作をしました。

【千葉県】

高田屋 嘉兵衛（たかだや かへえ）
択捉航路の開通、漁場の開拓と海運に貢献。

【兵庫県】

栖原 角兵衛（すはらかくべえ）
天塩地方の開拓、航路の拡張、漁場開拓に尽力。

【和歌山県】

最上 徳内（もがみとくない）
蝦夷草紙を書き馬鈴薯を伝えた功労者。

【山形県】

近藤 重蔵（こんどうじゅうぞう）
千島列島の開拓に尽力、石狩平野に開拓の府設置を建言。

【東京都】

間宮 林蔵（まみやりんぞう）
間宮海峡を発見、伊能忠敬の志を継いで地図を完成。

【茨城県】

中川 五郎治（なかがわごろうじ）
箱館地方の天然痘で全国初の種痘法を始めました。

【青森県】

鈴鹿 甚右衛門（すずかじんごもん）
私費で江差、箱館間の鶏山道等を開削しました。

【北海道】

井上 長秋（いのうえよしたけ）
箱館裁判所判事になり蝦夷地開拓に功労しました。

【鹿児島県】

松前 徳広（まつまえのりひろ）
幕軍の脱走兵に孤軍奮闘で戦った最後の松前城主。

【北海道】

田崎 東（たざきあずま）
勤王論を唱導して藩論をまとめた松前藩勤王の士。

【東京都】

鍋島 直正（なべしまなおまさ）
佐賀藩主、蝦夷開拓督務、開拓使初代長官として開拓に尽力。

【東京都】

島 義勇（しまよしたけ）
開拓三神を奉じ鎮座地を定めた札幌の都市計画の祖。

【佐賀県】

松川 弁之助（まつかわべんのすけ）
箱館の開拓事業、樺太漁場開拓、移民誘導に尽力。

【新潟県】

続 豊治（つづきとよじ）
和洋折衷の船形を創案、西洋式船舶製造の先駆者。

【北海道】

下国 安芸（しもくにあき）
松前藩家老。維新後も旧領の安定に尽くしました。

【北海道】

清水 谷公考（しみずたにきんなる）
箱館府知事、開拓使次官など蝦夷地開拓の功労者。

【京都府】

早川 弥五左衛門（はやかわやござえもん）
蝦夷地探検、樺太渡航、漁場開拓に貢献。

【福井県】

松浦 武四郎（まつうらたけしろう）
北海道の名付け親、箱館府判事、開拓判官を歴任。

【三重県】

吾妻 謙（あがつまけん）
石狩郡当別村の開祖。畜産経営にも着手しました。

【宮城県】

佐野 孫右衛門（さのまごうえもん）
釧路開拓の功労者。鉱物採掘事業にも尽力。

【北海道】

伊達 邦直（だてくになお）
岩出山藩主、石狩郡当別村に土族移住を成功させました。

【宮城県】

黒田 清隆（くろだきよたか）
北海道開拓の産業や制度を創始。首相をつとめました。

【鹿児島県】

小林 重吉（こばやしじゅうきち）
三石昆布の輸出、開墾植林、航海学校設立などに尽力。

【北海道】

永山 武四郎（ながやまたけしろう）
屯田兵本部長、北海道庁長官、屯田兵育ての親。

【鹿児島県】

岡本 監輔（おかもとけんすけ）
樺太経営の重要性を建白。千島防備の千島義会を組織。

【徳島県】

伊達 邦成（だてくにしげ）
伊達巨理藩主。伊達市の基礎を築いた開拓功労者。

【宮城県】

東久世 通禧（ひがしきよみちとみ）
二代目開拓長官。開拓三神を奉戴して上陸。開拓の祖。

【京都府】

田村 顕允（たむらあきまさ）
伊達巨理藩家老。土族移住を成功させた伊達開拓功労者。

【宮城県】

岩村 通俊（いわむらみちとし）
北海道初代長官。北海道拓殖の基礎を築きました。

【高知県】

依田 勉三（よだべんぞう）
晩成社を設立。十勝帯広に移住、開拓、帯広の農聖。

【静岡県】